



仕事風景

曾於市の仕事を写真で紹介します

1



4



3



2

調教師

今年も11月23日に末吉の住吉神社で流鏑馬が行われた。猛スピードで走る馬にまたがり、射手が的を射る。観客と馬との差は1歩ほどで、近づく足音と駆け抜ける風を身近に感じることが出来る。スピードを落とすことなく最後はピタリと止まり、観客からは歓声が沸く。

「馬を上手に育てるには愛情しかない。馬は頭がいいから分かってくれる」と話すのは三枝俊博さん。40年に渡って、流鏑馬の馬を買い付けから調教まで行っている。馬を見る目や調教技術は九州でも有名で、この業界で三枝さんの名を知らない者はいないという。せり市会場では、三枝さんに目利きをお願いする人が後を絶たない。

「元気の源は馬。馬のいない生活は考えられない」と目を細める。「私もあと何年やれるか分からない。後継者を見つけ、流鏑馬を継承していかねければならない」と心配を漏らしつつも、現役続行の意欲が満ち溢れていた。



5



6



9



8



7

1_ばんえい馬を4頭所有し大きいものは1ト近くになる 2_馬場を真っ直ぐ走るように調教されている 3_射手の着付けや装飾品の仕上げは三枝さんの仕事 4_流鏝馬当日は実況や解説も行う 5_馬の顔に付いた虫をひとつひとつ丁寧に取り除いていく 6_大自然に囲まれた馬小屋でのびのびと育てられている 7_所有する馬は串木野浜競馬大会などにも出場し多くの大会で優勝 8_馬たちも仲がいい 9_馬の話になると笑みがこぼれる三枝さん



三枝 俊博さん (76 歳)
末吉町南之郷三枝